

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

中期経営計画2026のテーマ

「No.1事業群」をテーマに、競争優位を磨き、社会課題解決を通じた飛躍的な成長を実現

投資実行額
7,300億円利益増加
530億円

② 中長期の経営戦略

1. 事業ポートフォリオ変革

主要成長分野に過去最高レベルの投資を実行。ティーガイア売却等で資産入替を加速

3. 成長の原動力の強化

WILL選考等で多様な個の意志を引き出し、経営人財を計画的に育成。属性に囚われない人財配置を推進

2. 強みを核とした成長

リース・都市総合開発・デジタル等で収益基盤を拡大。各事業グループが強みある領域に経営資本を傾注

4. グループシナジー拡大

親和性のあるビジネスを同一グループに再編。都市総合開発でインフラノウハウを活かした投資を実行

③ 対処すべき課題

① 経営環境の不確実性

- ・ 米国の関税措置による経済への悪影響懸念
- ・ 地政学的リスク・ロシア・ウクライナ等の再緊迫化
- ・ 中国経済の成長鈍化と不動産市場低迷

② 事業別の課題対応

- ・ 建機・アグリ等足元低調な事業の改善
- ・ 米国関税の建設機械事業への影響への対処
- ・ マダガスカル・ニッケル事業の体質改善

③ 構造的変化への対応

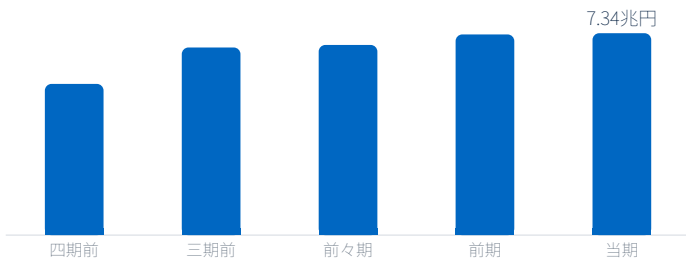
- ・ 消費者ニーズの多様化・細分化への適応
- ・ 人件費・燃料費高止まりの継続
- ・ 気候変動対応と脱炭素社会実現への加速

面接で使えるポイント

- ・ 中期経営計画2026で『No.1事業群』達成に向けた『強みを核とした成長』と『事業ポートフォリオ変革』に注力している企業
- ・ 2024年度に過去最高レベルの7,300億円投資を実行し、社会課題解決を通じた成長を目指す総合商社
- ・ WILL選考等で多様な人財の意志・ポテンシャルを最大限に引き出し、属性に囚われない人財配置を推進

証券コード 8053

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



暗記する数字3つ

連結売上高
7.34兆円営業利益率
－（未開示）財務健康度
47点 / 100点

将来性 晴れ時々曇り / 就活偏差値 66.5（当サイト算出の参考指標）

平均年収
1,840万円

卸売業内 4位/282社

平均年齢
43.3歳

卸売業内 106位/283社

平均勤続
18.0年

卸売業内 25位/282社

女性管理職
11.2%

卸売業内 62位/209社

男性育休
79.6%

卸売業内 88位/180社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース一言

参考: 住友商事のCVCが、顧客エンゲージメントプラットフォーム「K

